動作環境

Timer Remover は、Windows 7/8/8.1/10 の 32/64 ビット環境で動作します。

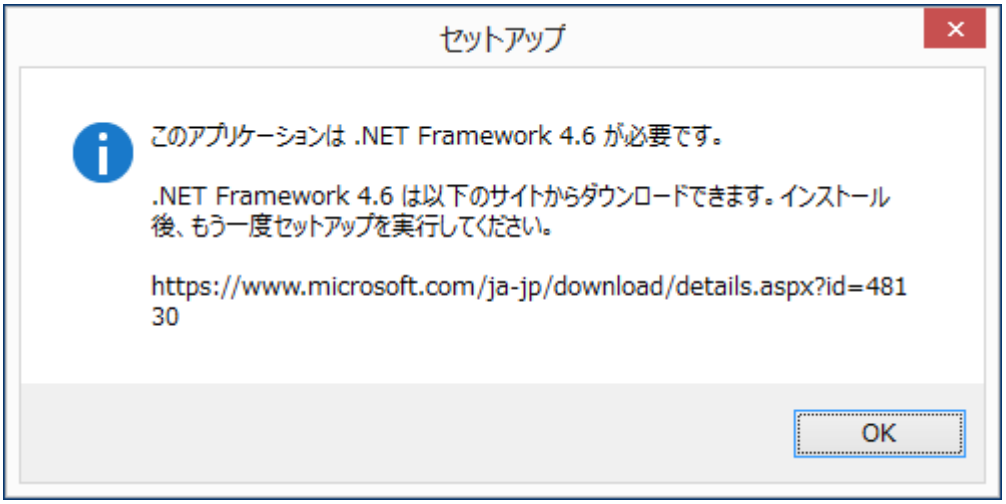
本アプリケーションの実行には「Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージ」が必要とります。

（「こちら」よりダウンロードできます）

さらに、Windows 7/8/8.1 においては「.NET Framework 4.6 ラインタイム」が必要となります。

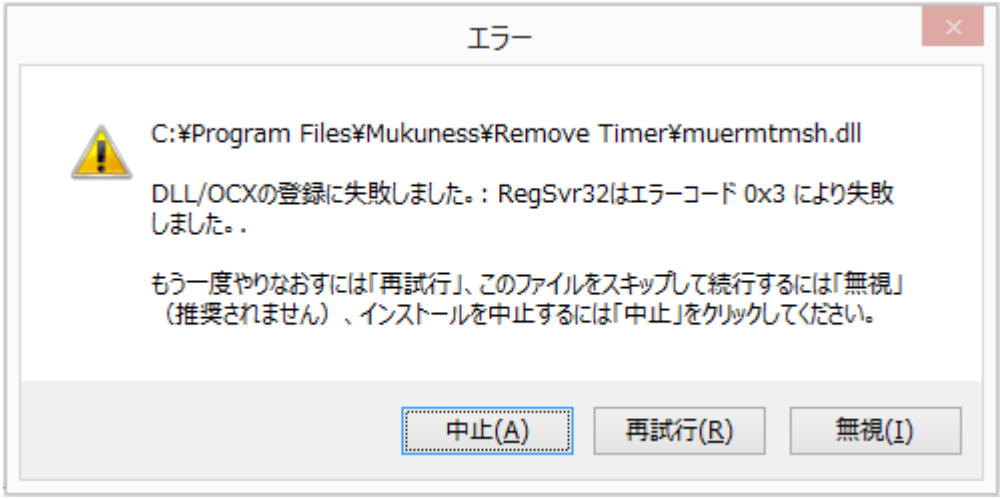
（「こちら」よりダウンロードできます）

.NET Framework 4.6 がインストールされていないときのメッセージ



Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージがインストールされていないときのメッセージ

「中止」をクリックしてインストールを中止してください。



Copyright © 2015-2016 Mukuness, all rights reserved.

主な機能

- 削除まで期限が設定されたファイルを期限経過後システムが自動的に削除
- ファイルごとに期限を設定可能
- ユーザーごとに期限を設定可能（マルチユーザー対応）
- ログインしていない状態でも期限がくれば勝手に削除
- ファイルを移動しても削除（同一ボリューム内）

削除仕様

- NTFS でフォーマットされたボリュームにあるファイルのみ、タイマーによる削除が可能です。
- タイマー登録されたファイルをコピーした場合、コピー先のファイルは削除の対象となりません。また、タイマー登録された ファイルをボリュームをまたがって移動した場合、移動先のファイルは削除の対象となりません。コピーしたコピー先のファイル、ボリュームをまたいだ移動先 のファイルは、何れも新規に作成されたファイルとなるためです。
- ハードリンクされたファイルに対しては、リンクされたファイルのうち一つだけが登録されますが、すべてのファイルが削除されます。
- シンボリックリンクに対しては、リンク元のファイルが登録され、リンク元ファイルのみが削除されます。
- タイマー登録可能なファイルは、ユーザーに読み取り権限のあるファイルとなります。
- システムアカウント(Local System)に削除権限のないファイルは削除されません。

Copyright © 2015-2016 Mukuness, all rights reserved.

Remove Timer ver. 1.0.0 readme
http://www.mukuness.com/software/removetimer
2016/3/9

インストール

再インストールや、既に過去のバージョンがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてからインストールしてください。
インストール後、これまでの設定情報がクリアーされてしまう場合があります。インストール後は、設定情報を確認してください。

ダウンロードした zip 圧縮ファイルを解凍します。
以下 2 つのファイルが解凍されます。それぞれ、64 ビット OS 用と 32 ビット OS 用です。

- mu-removetimer-1.0.0-x64-setup.exe (64 ビット OS 用セットアップ)
- mu-removetimer-1.0.0-x86-setup.exe (32 ビット OS 用セットアップ)

インストール先の OS 環境にあわせて、解凍されたセットアップファイルを実行し、画面の指示に従ってインストールしてください。
セットアップファイル実行のさい、セキュリティの警告などのダイアログが表示されることがあります。「こちら」を参考にしてください。

アンインストール

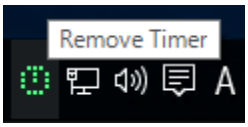
コントロールパネルの「プログラムと機能」からアンインストールします。
プログラムと機能に表示される「Mukuness Remove Timer」を選択し、右クリック→「アンインストール」を実行してアンインストールしてください。

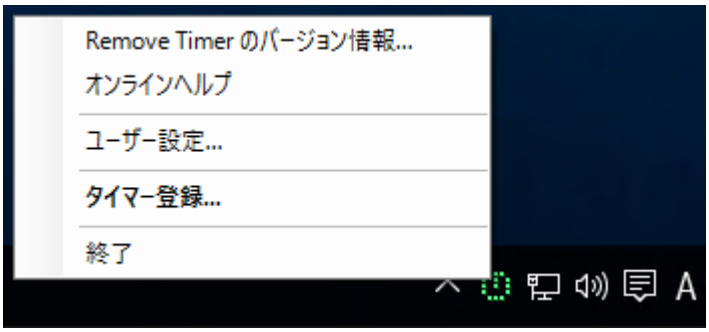
Copyright © 2015-2016 Mukuness, all rights reserved.

操作方法

スタートメニューから「Mukuness」→「Remove Timer」を実行します。

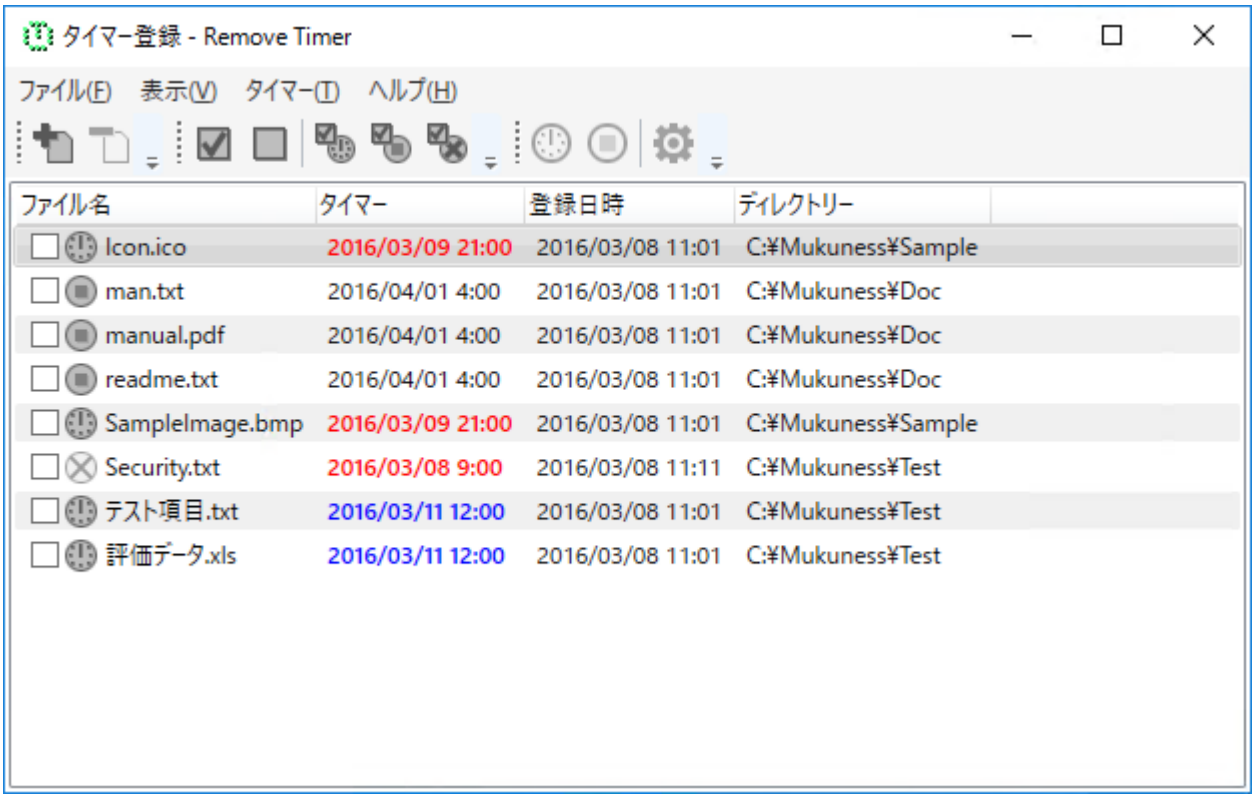
Remove Timer を実行すると、タスクトレイにアイコンが表示され、マウスの右クリックでメニューが表示されます。





メインウィンドウ（タイマー登録ウィンドウ）

タスクトレイアイコンをダブルクリック、もしくは右クリックして「タイマー登録...」を選択すると、以下の「登録ウィンドウ」が表示されます。



ウィンドウ全面に表示されたリストは、タイマーに登録されたファイルのリストです。

「ファイル名」欄の停止アイコン はタイマーが停止中、起動アイコン はタイマーが起動している状態

Copyright © 2015-2016 Mukuness, all rights reserved.

です。タイマーに登録されても、タイマーが停止中のファイルは期限がきても削除されません。
「タイマー」欄は、削除される日時を表しています。この時刻になると、タイマー起動中のファイルは削除されます。ごみ箱にも入らずいきなり削除されるので注意です。期限が 3 日以内になると「青」、1 日以内になると「赤」で表示されます。
「登録日時」欄は、タイマーに登録した(リストに登録した)日時です。
「ディレクトリー」欄は、ファイルの存在するディレクトリーです。ただし、ファイルは移動されることがあります。「最新の情報に更新」することで、現在の場所を表示することができます。

タイマー登録・解除

メニューコマンド

登録ウィンドウの「ファイル」メニューから「ファイル登録(R)...」コマンドを実行するか、ツールバーの「ファイル登録」ボタン をクリックします。
ファイル選択ダイアログが表示されるので、タイマーに登録するファイルを選択してください。

ドラッグ＆ドロップ

登録ウィンドウのファイルリストに、Windows エクスプローラーからファイルあるいはディレクトリーをドラッグ アンド ドロップします。ディレクトリーをドロップすると、ディレクトリー内のファイルが登録されます。

コンテキストメニュー

Windows エクスプローラーにおいて、ファイルあるいはディレクトリーを選択し、右クリック→「Remove Timer...」を実行すると、選択されたファイルがタイマーに登録され、同時に登録ウィンドウが起動されます。

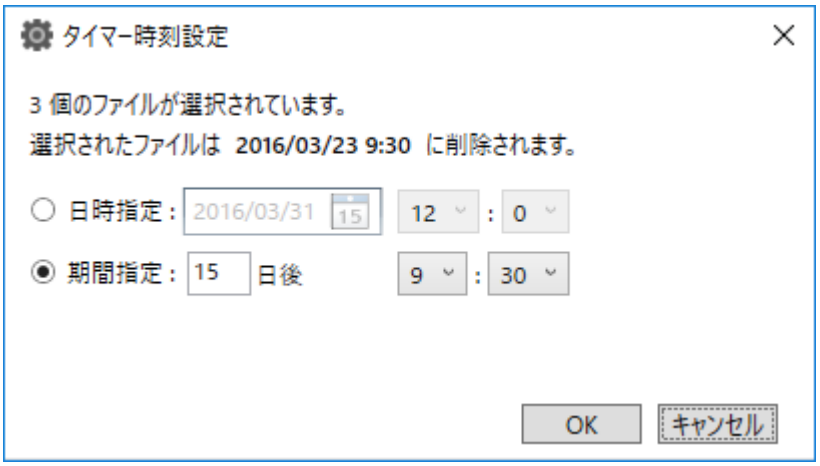
タイマーの登録解除は、まず解除したいファイルを選択します。ファイル名のチェックボックスをチェックすることで選択します。

Copyright © 2015-2016 Mukuness, all rights reserved.

「ファイル」メニューから「解除」コマンドを実行するか、ツールバーの「解除」ボタン をクリックすることで、選択したファイルの登録が解除され、リストから削除されます。

タイマー起動・停止

ファイルをタイマーに登録すると、停止状態で登録されます。(設定で「起動状態で登録」に変更できます)
タイマーを起動したいファイルを選択し、「タイマー」メニューの「タイマー開始」コマンドを実行するか、ツールバーの「タイマー開始」ボタン をクリックすることで、選択したファイルのタイマーが開始されます。
タイマーの停止は、「タイマー」メニューの「タイマー停止」コマンド、あるいは、ツールバーの「タイマー停止」ボタン をクリックすることで、選択したファイルのタイマーが停止します。
タイマーの期限の設定は、タイマー時刻設定ウィンドウで設定します。



タイマー時刻設定ウィンドウは、「タイマー」メニューの「タイマー設定」コマンド、あるいは、ツールバーの「タイマー設定」ボタン をクリックすると表示されます。
タイマー時刻の設定は「日時指定」あるいは「期間指定」から選べます。

日時指定

削除してほしい日時を直接指定します。

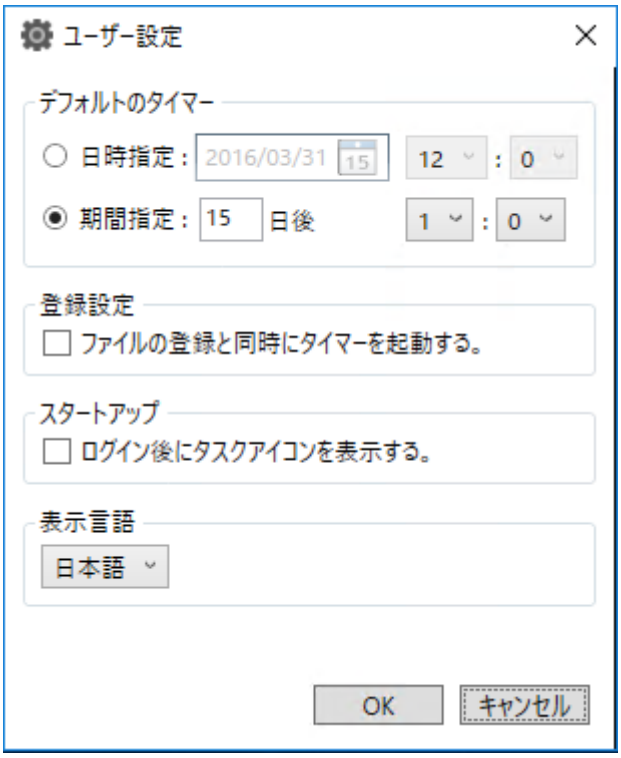
期間指定

削除してほしい日まで日数で指定します。例えば、今が 2016 年 3 月 1 日 18:45 であった場合、「3 日後 15:30」と指定すると、2016 年 3 月 4 日 15:30 に削除されます。日数のみが相対的な指定になります。

ユーザー設定

タスクトレイアイコンを右クリック→「ユーザー設定...」を実行するとユーザー設定ウィンドウが表示されます。

Copyright © 2015-2016 Mukuness, all rights reserved.



デフォルトのタイマー

ファイルをタイマーに登録したさいに設定されるタイマーの時刻です。
日時指定が選択され、既に過去の日時が設定されていてもその日時で登録されます。タイマーの時刻が過去に設定されている場合にタイマーを開始すると、すぐにファイルが削除されます。
期間指定は、ファイルを登録した時点からの相対的な時刻がタイマーの時刻になります。

登録設定

ファイルをタイマーに登録すると同時にタイマーを起動するか否かを指定します。チェックすると、ファイルの登録と同時にタイマーが起動されます。

スタートアップ

ログインと同時にタスクトレイのアイコンを自動で表示するか否かを指定します。チェックすると、ログインと同時にタスクトレイアイコンが表示されます。

表示言語

メニューやウィンドウ内の文字列の言語を選択できます。

登録ウィンドウ - メニューコマンド リファレンス

ファイル(F)

「ファイル登録(R)...」
ファイル選択ダイアログを表示し、選択されたファイルをタイマーに登録します。

Copyright © 2015-2016 Mukuness, all rights reserved.

「解除(U)」
ファイルリストで選択されたファイルのタイマーの登録を解除します。
「終了(X)」
登録ウィンドウを終了します。

表示(V)

「すべて選択(A)」
ファイルリストのファイルをすべて選択(チェックボックスをチェック)します。
「すべて解除(U)」
ファイルリストのファイルの選択をすべて解除します。(チェックボックスのチェックを外す)
「タイマー開始のみ選択(S)」
タイマーが開始されているファイルを選択します。
「タイマー停止のみ選択(P)」
タイマーが停止中のファイルを選択します。
「削除に失敗したタイマーのみ選択(F)」
削除に失敗したファイルを選択します。ファイルへのアクセス権がないなど、ファイルの削除に失敗することがあります。削除に失敗したファイルはアイコン が表示されます。
「最新の情報に更新(R)」
ファイルリストの最新の情報を表示します。

タイマー(T)

「タイマー開始(S)」
ファイルリストで選択されたファイルのタイマーを開始します。
「タイマー停止(P)」
ファイルリストで選択されたファイルのタイマーを停止します。
「タイマー設定(T)」
ファイルリストで選択されたファイルのタイマーの時刻を設定します。タイマー時刻設定ウィンドウを表示します。

ヘルプ(H)

「オンラインヘルプ(H)」
Mukuness(ムクネス)ウェブサイトの Remove Timer の説明ページを表示します。
「Remove Timer のバージョン情報(A)...」
バージョン情報を表示します。

タスクトレイ ・ メニューコマンド リファレンス

「終了」
タスクトレイアイコンを終了します。登録ウィンドウやユーザー設定ウィンドウが表示されている場合は、そ

Copyright © 2015-2016 Mukuness, all rights reserved.

れらのウィンドウも終了します。

「タイマー登録...」

タイマー登録ウィンドウを表示します。

「ユーザー設定...」

ユーザー設定ウィンドウを表示します。

Copyright © 2015-2016 Mukuness, all rights reserved.

更新履歴

Ver. 1.0.0 (2016/3/9)

初めて公開したバージョン

規約

頒布

Remove Timer（以下、本プログラム）の頒布あるいは導入は、以下を遵守することを条件に、自由に行うことができます。

- オリジナルのアーカイブファイル（zip 圧縮ファイル）のまま頒布すること。アーカイブファイルおよびアーカイブファイルに格納されたファイルの内容および構成を変更しないこと。
- 本プログラムの頒布および導入等に対する対価を求めないこと。ただし、頒布の際に使用したメディアの代金やファイル転送等の通信費などの実費は除く。
- 商用目的で頒布および導入を行う場合には、本プログラムの著作者の許可が必要となる。
- 雑誌、書籍等への添付の際は、事前に著作者へ連絡すること。

著作権

本プログラム（アーカイブファイルおよびアーカイブファイルに含まれるすべてのデータ）の著作権は、本プログラムの作成者である Mukuness（ムクネス）が所有しています。

免責

本プログラムの使用あるいは使用が不可能であることによって生じた、使用者への如何なる問題や損害、不利益に対して、著作者は一切の責任を負いません。
本プログラムの仕様、頒布条件、利用条件は予告なしに変更されることがあります。

商用利用

本プログラムの頒布や導入等における対価の発生は禁止しますが、業務での使用に関しては、個人で使用する場合の条件と同様に使用することができます。

Copyright © 2015-2016 Mukuness, all rights reserved.